

Science Cafe on the Edge

コーヒー片手にサイエンス



最新イメージング技術で、免疫を視る

2016. 1. 22
(FRI)

7:00pm-9:00pm

(開場 6:30pm)

CAFE Lab.

グランフロント大阪 北館 1F

■ 話題提供者

川上 直人 / Ludwig-Maximilians University of Munich, Institute of Clinical Neuroimmunology

石井 優 / 大阪大学 大学院医学系研究科・免疫学フロンティア研究センター (IFReC)

■ ファシリテーター (科学を伝えるひと)

津村 明子 / 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)

■ 参加費 / 定員

無料 (1ドリンク制 500円) / 50名 (事前登録不要)

■ 主催 : 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)

■ 協力 : 一般社団法人ナレッジキャピタル・大阪大学 21世紀懐徳堂

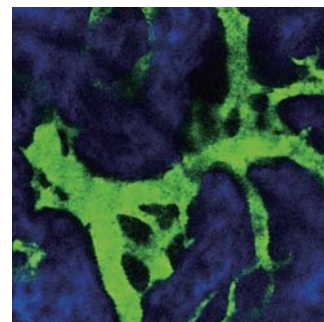
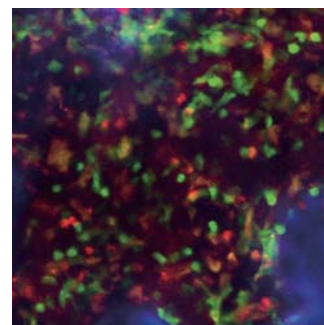
視てわかる免疫!?

免疫細胞は私たちの身体を守るために、体内を駆け巡り、それぞれの場所で適切な働きをします。近年の免疫研究のアプローチでは、免疫細胞が「現場で働く姿」を観察して、その機能を探ろうとしています。このアプローチ方法は、生体内イメージングと呼ばれます。高性能の顕微鏡を駆使して、生きて動く細胞や組織の姿を捉え、体の中の出来事を可視化することで理解を深める方法です。

生体内イメージングを使うことで、免疫も視えてきました。

例えば、免疫細胞が神経に作用することで、自己免疫を引き起こす過程を観ることができました。骨を溶かす細胞（実は免疫細胞の一種です）がさらに細かく分類できることも視てわかりました。これは骨粗鬆症の治療のターゲットを絞ることに役立ちます。

今回のサイエンスカフェ・オンザエッジでは2人の生体内イメージング研究者をゲストに迎え、それぞれの研究について、免疫を視てわかったことを語ってもらいます。当日は免疫細胞の動きを観察した美しい動画もたくさんご覧いただく予定です。



川上 直人 Naoto Kawakami, Ph.D.

Ludwig-Maximilians University of Munich, Institute of Clinical Neuroimmunology, グループリーダー。

大阪大学 薬学部卒業・同大大学院薬学研究科修了。博士（薬学）。ドイツ Max-Planck 研究所を経て 2011 年より現職。生体内イメージングによる中枢神経系の自己免疫疾患の解明を目指している。



石井 優 Masaru Ishii, M.D. / Ph.D.

大阪大学 大学院医学系研究科 教授。

大阪大学医学部卒業・同大大学院医学系研究科修了。博士（医学）。米国国立衛生学研究所・国立アレルギー感染症研究所客員研究員、大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授を経て、2013 年より現職。研究内容は、生体イメージングによる細胞動態の可視化と細胞間ネットワークモデル構築。

Science Cafe on the Edge

2016. 1. 22 (金) 7:00pm - 9:00pm
開場 6:30pm

会場 グランフロント大阪 北館 1F **CAFE Lab.**
大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル

参加費 無料(1ドリンク制 500円) **定員** 50名 (事前登録不要)

サイエンスカフェ・オンザエッジとは

サイエンスカフェとは、カフェのようなリラックスした空間で、科学の専門家と市民とが科学について気軽に語り合うイベントです。サイエンスカフェ・オンザエッジではIFReCや関連研究分野の研究者を話題提供者（ゲスト）に招き、最先端の免疫研究を皆様に紹介しています。

お問い合わせ 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC) 企画室
Tel: 06-6879-4777 Mail: rpmo@ifrec.osaka-u.ac.jp



主催: 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)
協力: 一般社団法人ナレッジキャピタル・大阪大学 21世紀懐徳堂